

9) 高齢診療科

1. 診療体制と患者構成

1) 診療科スタッフ（講師以上）

神崎 恒一（教授・診療科長）

大荷 満生（准教授）

長谷川 浩（准教授）

松井 敏史（准教授）

2) 常勤医師、非常勤医師

常勤医師数：18名（教授1名 准教授3名 助教3名 医員8名 レジデント3名）

非常勤医師数：13名（客員教授2名 非常勤講師5名 専攻医6名）

3) 指導医、専門医・認定医

日本老年医学会指導医 8名

老年病専門医 17名

日本内科学会指導医 5名

認定総合内科専門医 2名

認定内科医 26名

日本臨床栄養学会認定臨床栄養指導医 1名

日本認知症学会指導医 7名

日本認知症学会専門医 11名

日本循環器学会循環器専門医 3名

日本消化器病学会消化器病専門医 1名

日本消化器内視鏡学会専門医 1名

日本未病システム学会未病医学認定医 1名

日本プライマリケア学会認定医 3名

日本麻酔科学会麻酔科認定医 1名

日本動脈硬化学会認定動脈化専門医 1名

日本医師会認定産業医 3名

日本神経学会専門医 1名

日本神経学会指導医 1名

4) 外来診療の実績

高齢者内科外来としての「高齢診療科」と東京都認知症疾患医療センターとしての「もの忘れセンター」を運営している。

・高齢診療科

年間のべ患者数 6,550名

専門外来の種類

脂質異常症専門外来（年間のべ患者数 1,351例）

・ホモ接合体家族性高コレステロール血症 3例

・ヘテロ接合体家族性高コレステロール血症 159例

・Ⅱa型脂質異常症 354例

・Ⅱb型脂質異常症 433例

・Ⅳ型脂質異常症 328例

・Ⅴ型脂質異常症 32例

・CETP欠損症 4例

・二次性脂質異常症（原発性胆汁性肝硬変、甲状腺機能低下症、薬剤性等を含む） 38例

高齢者栄養障害専門外来（年間のべ患者数 41例）

身体組成計測（インピーダンス法）、short physical performance battery等による栄養・身体機能評価

骨粗鬆症外来（年間のべ患者数 57例）

・もの忘れセンター

年間新患者数 658名、のべ5,654名

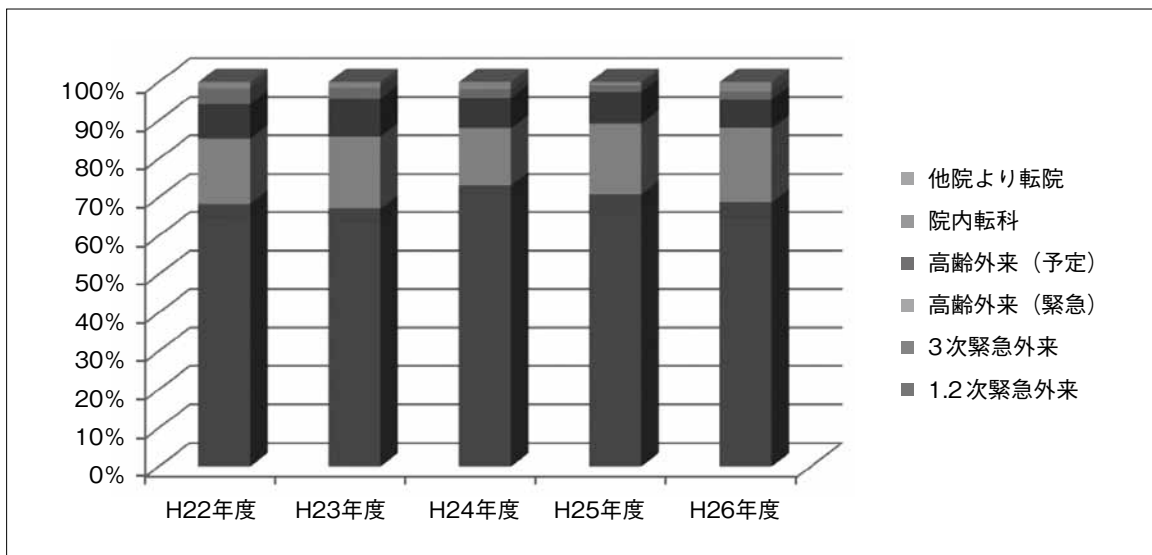
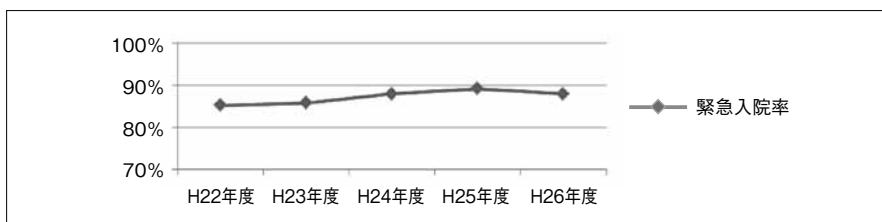
詳細な報告書を返送することで、紹介症例の多くは紹介医に逆紹介し治療を行っている。

年1-2回程度、当科で神経心理検査や画像検査を行う併診体制をとっている。

5) 入院診療の実績

| | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 新規入院患者数（のべ人数） | 401 | 395 | 342 | 308 | 352 |
| 平均年齢 | 85.56 | 85.9 | 86.32 | 86.82 | 86.13 |
| 死亡患者数 | 57 | 41 | 37 | 34 | 53 |
| 剖検数 | 4 | 2 | 4 | 5 | 5 |
| 剖検率 | 7.02% | 4.88% | 10.81% | 14.71% | 9.43% |

入院経路と緊急入院率



主要疾患患者数（のべ人数）の推移

| 主要疾患患者数（のべ人数） | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 神経精神疾患 | 183 | 281 | 231 | 186 | 245 |
| 呼吸器系疾患 | 230 | 325 | 267 | 214 | 228 |
| 循環器系疾患 | 381 | 381 | 364 | 325 | 350 |
| 消化器系疾患 | 135 | 212 | 199 | 151 | 162 |
| 腎泌尿器系疾患 | 227 | 192 | 236 | 195 | 147 |
| 筋骨格系疾患 | 58 | 98 | 73 | 70 | 82 |
| 血液系疾患 | 50 | 49 | 39 | 39 | 31 |
| 内分泌/代謝系疾患 | 154 | 176 | 129 | 129 | 189 |
| その他の疾患* | 195 | 273 | 188 | 167 | 145 |
| 悪性腫瘍全体 | 58 | 49 | 46 | 48 | 79 |

*感染症、膠原病、DIC、廃用症候群、他科疾患など

2. 先進医療への取り組み

- 1) 総合機能評価（疾患評価、BADL、IADL、認知機能、うつ、意欲、社会的背景）を用いた認知症の診断と治療：重症度に応じた個別治療
- 2) 非侵襲的動脈硬化検査：非侵襲的検査（脈波速度、頸動脈エコー等）を用いた動脈硬化性疾患の病状把握
- 3) 大脳白質病変の半定量評価と危険因子検索
- 4) 光トポグラフィーを用いた大脳活動のリアルタイム評価
- 5) 経頭蓋超音波ドプラによる脳血流検査
- 6) サルコペニアならびにフレイルの定量的評価
- 7) 栄養評価：身体計測法、栄養調査表による詳細評価と生活指導

3. 低侵襲医療の施行項目と施行例数

| | |
|-----------|-------|
| 大脳白質病変検査： | 764例 |
| 重心動揺計 | 395例 |
| 転倒検査： | 577例 |
| 総合機能評価： | 2149例 |
| 光トポグラフィー： | 35例 |

4. 地域への貢献（講演会、講義、患者相談会など）

東京都認知症疾患医療センターであるもの忘れセンターでは、下記の家族教室を定期開催するとともに、近隣自治体や医師会等での講演会・講習会・研修会活動を行っている。

- ・もの忘れ家族教室
 - 中居龍平、金信敬（非常勤講師）、認定看護師、音楽療法士、ソーシャルワーカー他 年間80回開催
 - 認知症入門、予防・治療、介護、運動療法、音楽療法、介護保険の6テーマを繰り返し、毎回6家族限定で開催している。
- ・近隣地域（三鷹市、武蔵野市、調布市、小金井市）での講演会・講習会・研修会 14回